

Revival Booklet Series No.22

Disregard of Evidence

証の軽視

リバイバルシリーズ No.22

エレン・ホワイト



SUNRISE MINISTRY

証の軽視

教会への証 5 巻 75 ～ 84 部分記

1882 年 6 月 20 日

(バトルクリークの兄弟姉妹達へ)

人間に頼りすぎ

わが民は非常に危険な過ちを犯している。人を
称賛しへつらえば誰であろうと必ずその人に多大
な害悪を与えることになる。このことをするもの
は大きな失望に会うであろう。彼らは有限な人間
にあまりにも頼りすぎて、誤りのないお方であら
れる神に十分に頼らない。公の注目を集めるため
に人を持ち上げようと熱望することは、神からの
背教であり、世の友であることの証拠である。こ
のような精神が現代を特徴づけている。それはイ
エスの心を持っていない人であり、霊的盲目、魂
の貧困が彼らに及んできたことを示している。し
ばしば劣った心の持ち主はイエスから目を離し、
ただ人間の標準に目を向けることによって自らの

貧弱さに気付かず、自らの能力と才能に不当な評価をする。民として我々の間に、人間の器、ただの表面的な特質にすぎない、人間の才能という偶像がある。われわれは自己に死に、謙遜な、幼子のような信仰をもたねばならない。神の民はその単純さから離れてしまった。彼らは神を己の力とせず、霊的に弱く、衰弱している。

わが民の大きな危険 TM1 06,7

イエスを見ないで人に期待 TM93

教会が弱い理由：そのように教育されてきたから TM380

古代イスラエルと同じ道

わたしは世の精神が教会を速やかにパン種のように膨らませているのを見せられた。あなたがたは古代イスラエルと同じ道をたどっている。神の特殊な民としての聖なる召しから同じように落ちつつある。あなたがたは暗黒の実らない業と交わっている。未信者との一致は主の不興を引き起こした。あなたがたの平安をもたらす事柄を知らない。そしてそれらはあなたの目からすみやかに隠されつつある。あなたがたが光りに従うことを

怠るなら、あなたがたはキリストが災いを宣告されたユダヤ人よりも、もっと不利な立場に自らを置くことになるであろう。

証に対する不信とわずかな残りの者

わたしは証に対する不信が、民が神から離れるにつれ、着実に増していくのを見せられた。それが我々の教会のあらゆる階層で、各地至る所で見られる。しかし、我々の教会がどんな経験をするかを知っている者はわずかである。現在は我々は神の忍耐の下にあるが、誰もこの状態がどれほど続くかを言える者はいないのをわたしは見た。我々にどれほどの大いなる憐れみが施されてきたかを知る者はない。しかし、神に心から献身しているわずかな者達がいる。嵐の夜に、雲の隙間からあちらこちらに星のように輝く者がわずかだけいる。

「サタンの最後の欺瞞は証を無効にすること」 1SM48

多くの者たち

神からの真理に自己満足げに聞き入っている多

くの者たちは、生きていると自称してはいるが、
靈的に死んでいる。何年も、彼らは集会に出入り
しているが、啓示された真理の価値を益々感じな
くなっているように見える。彼らは義に飢え渴か
ない。彼らは靈的な、または神聖なことに興味を
持たない。彼らは真理に同意するが、それによっ
て清められていない。神の言葉も、み霊の証しも
彼らに永続的な印象を何も与えない。彼らが輕視
してきた光と特権と機会に従って罪に定められ
るのである。他の人々に真理を述べ伝えている多く
の者自身が、不義を心に抱いている。神聖なメロ
ディーのように訴える神の御霊も、豊かな約束に
満ちた言葉も、偶像礼拝者や不服従に対する警告
も、世的で、強情な心を溶かすには全く無力であ
る。

我が民の多くはなまぬるい。彼らはやるのでも、
やらないのでもない、熱くも冷たくもないメロズ
(イスラエルを助けなかったので呪われた村地一
士師 5:23) の立場にある。キリストの言葉を聞く
が行わない。もし、彼らがこの状態を続けるなら

ば、キリストは彼らを忌み嫌って拒絶されるであろう。大きな光り、絶好の機会、あらゆる霊的な利点を持っていた多くの者が、同じ息でもってキリストと世をたたえている。神と富を拝んでいる。世の子らと楽しみながら、それでいて神の子としての祝福を主張する。キリストを救い主として信じたいと望みながら、十字架を負わず、主のくびきを負わない。願わくは神の憐れみがあなたがたの上にあるように。このまま進むならば、あなたがたについて悪いことしか預言されないからである。

偽預言者は平和を叫ぶ

神の忍耐には目的がある。しかしあなたがたは、それを無にしている。あなたがたがそのうちなくなってしまうと考えている状態を神はお許しになっているが、そのうちでは遅すぎる。神はエリヤに、残酷で欺瞞的なハザエルをシリヤの王として油をそそぐように命じられたが、それは偶像礼拝者のむちとなるためであった。神はあなたがたが望んでいる欺瞞に委ねてあなたがたを見放してしまわれるかどうか誰も分らない。忠実で、堅

固な、真実な説教者達は、恩知らずの我々の教会に平和の福音を提供する最後の者となるかもしれない。もしかすると、もうすでにサタンの手によって破壊者が訓練されていて、あと少しの旗（標準）を掲げる者らが去って、その代わりに偽預言者が、主が平和を語られないのに、「平和だ平和だ」と叫ぶ声が聞こえて来るのはもう時間の問題かも知れない。

預言者は泣く

わたしはめったに泣かないが、今わたしの目は涙で見えなくなっている。書く紙の上に涙がこぼれ落ちている。まもなく、われわれの間ですべての預言は止み、人々を奮起させた声はもはや彼らの肉の眠りを邪魔しなくなるかもしれない。

神が地上で不思議なわざをなされるとき、聖なる手が契約の箱をこれ以上担がなくなるとき、災いが民の上に臨むであろう。ああ、もしおまえも、この日に平和をもたらず道を知ってさえいたら・・・ああ、我が民が、力を尽くして悔い改め、

心を尽くして信じて、神の怒りが離れた二ネベのようになればと願う！

世の標準を慕う親と子供たち

わたしはこのような時に親たちが世と妥協し、世の標準に合わせようとする子供たちを許す親達を見る時に、わたしは苦痛と、苦悩に満たされる。現代の真理を信じると自称する家族の状態を目のあたりにするとき、わたしは恐れおののいてしまう。青年、そして子供たちまでも、不品行に陥っている様子はほとんど信じがたいほどである。隠れた悪徳が子供の内から神の像を破壊し、消しつつあることに、両親たちは気づいていない。ソドムを特徴づけた罪が彼らの間に存在する。その責任は親たちにある。彼らが神を愛し、従うよう教育して来なかったのである。彼らは子供たちを抑制もせず、主の道を熱心に教えもしなかった。彼らは子供たちが望むがままに出入りすることを許し、世俗と交わることを許したのである。親の教えと権威を妨げる世的な影響は、いわゆる良い社会といわれる所にたいいてい見いだされる。彼らの

衣服、外観、娯楽によってキリストに反する雰囲気
気で彼ら自身を囲んでいる。

我々の唯一の安全は？ 特殊な民

我々の唯一の安全は、神の特殊な民として立つ
ことである。我々はこの墮落した時代の習慣や流
行に一インチも譲歩してはならない。かえって腐
敗した、偶像的な行いと妥協しないように、道徳
的独立心を持って立つべきである。

キリスト教社会の宗教的標準の上を行くために
は、勇気と独立心が要求される。彼らは自己否定
の救い主の模範に従わない。彼らは自己犠牲をし
ない。キリストの弟子のしるしと宣言された十字
架をいつも避けようと求めている。

多くの牧師は平和の叫び

わたしは我が民を覚醒するために何を言うこと
ができようか？人々に聖書を説明するために立つ
牧師で汚されている者は少なくはない。彼らの心

は腐れ果て、手は汚れている。それでいて多くの者は「平和だ、平和だ」と叫び、不義なる働き人は警告されていない。主の手は短くて、救い得ないのではない。耳が遠くて聞こえないのではない。我々を神から引き離したのは罪である。教会員が自分達の体を汚し、魂を汚したために教会は腐敗している。

啓示よりも理性を高める

啓発と祈りのために集会に集まるすべての者が、真の礼拝者と見なされることができればなら、我々のためになされなければならないことが多く残っていたとしても、なお望みがある。しかし、自分自身をだますのは無駄である。現状は、外観にみられることとは程遠い。遠くから美しく見えても、近づいてみると欠陥だらけである。今日の時代を風びしている精神は、懷疑と背教である。すなわち真理の知識がある故に、啓蒙を装う精神はあるが、現実は無目的な臆測でしかない。神の明確な言葉と御霊の証に反する精神が存在する。神の啓示された知恵よりも、単に人間の理性を偶

像視し、高める精神がある。

指導者たち

聖書、証より学者の意見を信頼

責任ある人たちの中で、聖書の真理または御霊の証よりも、数人の思い上がった、いわゆる学者の意見が信頼されるべきだと考えている人たちがいる。パウロやペテロ、あるいはヨハネのような信仰は古臭くて、現代には不適切であると考えられている。それは不合理かつ不可解なもので、知的な頭脳の持ち主にはふさわしくないと言明されている。

これらの人々はわが民を苦しめるハザエルとなることを、わたしは示された。彼らは書かれたみ言葉よりも賢い者とされる。人間の判断は神の神秘を理解できないという理由で、神のみ言葉の真理そのものに対する不信がどの地域にも、社会のどの階級にも見られる。それが我々の大部分の学校で教えられ、保育園の教科にも組み込まれている。クリスチャンと自称する幾千の者が、偽りの

霊に氣をとられる。あなたがたはどこへ行っても、宗教の衣を着た暗黒の霊に直面するであろう。

誠実な牧師がいない？ 教会は徹底的に清められる

もし、外見上聖い生活に見えるすべてのものが現実にそうであったならば、世に真理を提示していると称するすべての者が、真理に反する生き方をしないで真理を実践するならば、彼らが御霊に導かれた神の人であるならば、道徳的暗黒の勢力がはびこる最中（さなか）にあって何か喜びを見出すであろう。しかし、反キリストがかつてない程の勢力を張っている。我々は叫びたくなる：「主よお助け下さい。神を敬う人は絶え、忠信な者は人の子らの中から、消えうせました。」と（詩篇 12:1）。多くの者が今の時代をずっと有望な時代として見ていることをわたしは知っている。これらの安易な魂は世の墮落に陥るであろう。それでも失望するには及ばない。誠実な牧師のいない所には、誠実なクリスチャンはあり得ないと考えがちだが、そうではない。牧者が真実でない所で

は、神ご自身が群れを養われると約束なされた。
神は一度も群れを人間の器に頼るままにされたこ
とはない。教会の清めの日は急速に近づいている。
神は清い、真実な民をお持ちになるであろう。ま
もなく起こる大いなるふるいにおいて、イスラエ
ルの力が良く分かるであろう。様々なしるしは、
主がみ手にうちわを持って、そのうち場（教会）
を徹底的にお清めになる時が近づいていることを
示している。

混乱と困惑の時代 **あらゆる教理の風が吹く** **偽りの科学**

大いなる混乱と困惑の時代が急速に近づいてい
る。サタンは天使の衣を着て、惑わし、できれば
選民をも惑わすであろう。多くの神々、多くの主
が現れるであろう。あらゆる教理の風が吹きまく
るであろう。「いわゆる、偽りの科学」に最高の
敬意を表している者たちは、指導者とはならない。
知性、優れた能力や才能に頼っていた者たちは、
その時大衆の指導者として立たない。彼らは光に

従ってこなかった。自らが不誠実であることを証明した者は、その時群れを任せられないであろう。

偉大な人たちは最後の働きにたずさわらない、なぜか？

最後の厳粛な働きには、偉大な人たちはほとんどたずさわらないであろう。彼らは自己満足し、神により頼まないの、神は彼らをお用いになることができない。主は忠実なしもべ達を持っておられるが、彼らはふるわれて試みられる時人々の前に現れる。

隠されている者たちが輝く時

バアルにひざを屈めなかった尊い人たちが今は隠されている。彼らはあなた方を照らしてきたまぶしいほどの光を持っていなかった。だが粗野で、魅力のない外面の下に真のクリスチャン品性の輝きが表されるであろう。昼間、天を見ても星は見えない。星は大空の定められた場所にあるのだが、目に見えない。夜になると、その純粋な輝きが見られるのである。

獣の刻印

すべての魂に試練がやって来るときは、それ程遠くはない。獣の刻印が我々に強制されるであろう。世の要求に 一步一步屈し、世の習慣と妥協してきた者は、ののしり、投獄の脅し、死に委ねるよりは権力にゆだねる方が、難しいことではないことを知るであろう。戦いは神の戒めか人間の法律かである。

称賛された多くの星が暗闇に

その時、教会の中では金と屑とが分けられる。真の敬神とうわべだけのメッキとがはっきり区別される。われわれがその輝きを称賛した多くの星が、その時闇に消え去る。豊かな穀物のうち場しか見えなかった所からさえ、もみ殻が雲のように風に吹き去られる。聖所の飾りだけを身につけて、キリストの義を着ていない者は皆自分自身の裸の恥をさらすことになる。

隠されていた者たちが立ち上がる

実を結ばない木は厄介ものとして切り倒される

ように、偽りの兄弟たちが本物から区別されるその時、隠されていた者たちが現れ、キリストのみ旗の下にホザナの隊列をつくるであろう。内気で、自信のなかった者たちが、キリストとその真理のために公然と立ち上がるのである。教会の中で最も弱く、ためらいがちな者たちがダビデのようになり、どんな事でも恐れずにするようになる。神の民にとって夜の闇が深ければ深いほど、星はもっと明るく輝く。サタンは忠実な者を激しく苦しめるであろう。しかし、イエスの名において、彼らは勝ちえてあまりあるのである。

教会の麗しい姿

その時キリストの教会は「月のようにうるわしく、太陽のように輝き、恐るべきこと旗を立てた軍勢の」ごとく見えるのである。

まかれた真理の種が実を結ぶ 榮譽を受ける者たち

伝道の働きでまかれた真理の種はその時芽を出し、咲いて、実を結ぶ。真理を受け入れる魂は、

患難を耐え、自分たちがイエスのために苦しむ特権を喜び、神を賛美するのである。「この世ではあなたがたは悩みがあるであろう。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている」。この地上をみなぎりあふれる災難が通過する時、エホバのうち場（教会）がうちわで吹きはらわれるとき、神はその民の助けとなられる。サタンのトロフィーが高く掲げられ、勝利が大きく宣言されるであろうが、純潔で聖い者たちの信仰はくじられないのである。

エリヤはエリシャを畑から召して、献身の外套を彼の上にかけた。この大いなる厳粛な働きの召しが学識があって、地位のある人たちに提供された。これらの人々が、自らを小さい者に見なし、主に全く頼っていたなら、神は彼らに勝利に次ぐ勝利の旗を掲げる栄誉を与えられたであろう。しかし、彼らは神から離れて世の感化に身を任せたので、主は彼らを拒絶されたのである。

科学を高める

多くの者は科学を高め、科学の源であられる神
を見失ってしまった。教会が最も純潔な時はそう
ではなかった。

聖霊の器

神は我々の時代に、僅かな者しか予期しないよ
うな働きを成されるであろう。神は世の科学施設
で見せかけの訓練を受けた人たちによってではな
く、聖霊の注ぎによって教えられた人たちを我々
の内に起こし、引き上げられるであろう。これら
の設備は神によって制定されたものなので、さげ
すまれたり、非難されるべきものではない。しか
し、それらは外面的な資格を提供することしかで
きない。学識があっても、うぬぼれの強い人間に、
神は依存していないことを表されるであろう。

わずかの者たちは平和を叫ばない

我々の間で本当に献身している者はわずかし
かない。自己との戦いに勝利している者は僅か
である。…神の見張り人は、神が平和を語ってお

られないのに、「平和だ、平和だ」と叫ぶことは
しない。…

教会は何によって評価されるか

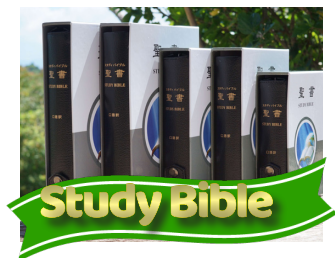
教会は世間、人間の意見、またかつてはどうであつたかによつても自らを評価することができない。現在の教会の信仰と世における立場は、もしその歩んだ道が上に向かつて常に前進していたら、どうなり得たかということと比較しなければならない。教会は聖所のはかりによって測られるのである。もし教会の道徳的品性と靈的狀態が、神が教会に与えた利益と祝福に相応しなければ、教会は足りないものとして見なされるであろう。道をはっきりと明確に照らしてきた光、そして1882年の光は、教会の精算を要求する。もし教会のタラントが改善されないままで、その実が神の前に完全とならずに、光が闇に変わっていたら、教会は明らかに足りないものとして見なされる。神がごらんになるように我々の状態を知る知識は我々から隠されている。我々は見ているようであるが理解していない。聞いているようであるが悟らない。

昼は雲の柱、夜は火の柱が聖所にとどまったように気づかずに安んじている。我々は神を知っていると自称する。真理を信じると自称する。しかし、行いにおいて神を否定しているのである。我々の行いは統治されていると公言するところの真理と義の原則に真っ向から敵対している。

＜質問＞

1. 人間を称賛し、へつらうことはなぜ危険か？
2. 現代の偶像礼拝にはどんなものがあるか？
3. 現代イスラエルは古代イスラエルと比較して何と言われているか？
4. 何が証に対して不信と懷疑をもたらすか？
5. 教会の徹底的なふるいまでどんな二つのグループが発展するか？各々を描写してみよ。
6. ふるいはいつ起きるか？震いでどんなことが起きるか？
7. 我々の唯一の安全は何か？

もっと詳しく研究なされたい方のために...



スタディバイブル

口語訳・注
解・脚注引照付き・
地図チャート・聖
句索引

¥8,000 ~

色はすべて黒で本革を使用

宇宙の謎、地球の謎、人生の謎に真実の解決を与えるのは聖書だけです。スタディバイブルは自分で研究できるように編集されています。

お問い合わせ、お申込みは下記の連絡先まで

証の軽視 - リバイバルシリーズ -

※頒布価格 100 円

発行 令和 5 年 10 月 16 日

著者 エレン・ホワイト

発行所 サンライズミニストリー

〒 905-0428

沖縄県国頭郡今帰仁村今泊 1471

電話 0980-56-2783

FAX 0980-56-2881

Email info@sunriseministry.com

www.sunriseministry.com



リバイバル小冊子シリーズ

No.1 安息日問答

No.2 アピール

No.3 装身具について

No.4 狭き道の旅

No.5 リバイバルと改革

No.6 神の聖安息日の遵守

No.7 今

No.8 終末時代における
霊の賜物

No.9 小さな光と大きな光

No.10 預言の霊に関する
指導原理

No.11 サタンのわな

No.12 人類が直面している
世界情勢

No.13 田舎の生活

No.14 十戒

No.15 主のぶどう園

No.16 背教のアルファ

No.17 終わりの時に備えよ

No.18 どのようにして安息
日を守るのか

No.19 キリスト論

No.20 救いの確証

No.21 もうひとつの箱船

No.22 証の軽視

